(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2005年2月17日(17.02.2005)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2005/015038 A1

(51) 国際特許分類7:

F16C 33/46

(21) 国際出願番号:

PCT/JP2004/011635

(22) 国際出願日:

2004年8月6日 (06.08.2004)

(25) 国際出願の言語:

日本語

(26) 国際公開の言語:

日本語

(30) 優先権データ:

特願2003-290455 2003 年8 月8 日 (08.08.2003) 特願2004-210946 2004年7月20日(20.07.2004)

- (71) 出願人(米国を除く全ての指定国について): 日本精 工株式会社 (NSK LTD.) [JP/JP]; 〒141-8560 東京都品 川区大崎一丁目6番3号 Tokyo (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 小林 一登 (KOBAYASHI, Kazuto) [JP/JP]; 〒251-8501 神奈川県 藤沢市 鵠沼神明一丁目 5番 5 0号 日本精工株式会

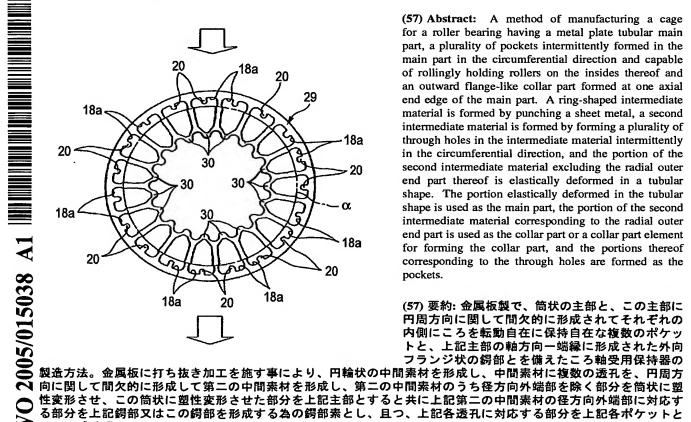
社内 Kanagawa (JP). 中村 敏男 (NAKAMURA, Toshio) [JP/JP]; 〒251-8501 神奈川県 藤沢市 鵠沼神明一丁目 5番50号日本精工株式会社内 Kanagawa (JP). 堀野 慶一 (HORINO, Keiichi) [JP/JP]; 〒251-8501 神奈川県 藤沢市 鵠沼神明一丁目 5番 5 0号 日本精工株式会 社内 Kanagawa (JP). 井手 羲郎 (IDE, Yoshiro) [JP/JP]; 〒251-8501 神奈川県 藤沢市 鵠沼神明一丁目5番 50号日本精工株式会社内 Kanagawa (JP).

- (74) 代理人: 小栗 昌平,外(OGURI,Shohei et al.); 〒107-6013 東京都港区赤坂一丁目12番32号アーク森 ビル13階 栄光特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が 可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI,

[続葉有]

(54) Title: METHOD OF MANUFACTURING CAGE FOR ROLLER BEARING AND CAGE FOR ROLLER BEARING

(54) 発明の名称: ころ軸受用保持器の製造方法及びころ軸受用保持器



(57) Abstract: A method of manufacturing a cage

性変形させ、この筒状に塑性変形させた部分を上記主部とすると共に上記第二の中間素材の径方向外端部に対応す る部分を上記鍔部又はこの鍔部を形成する為の鍔部素とし、且つ、上記各透孔に対応する部分を上記各ポケットと して形成する。



NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF,

BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

一 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。